

# デジタルと対面の融合による信頼を育む協同の実現 ～地域・組合員とつながり続けるJAを目指して～

---

島根県農業協同組合  
雲南地区本部  
稲田 一貴

# ◆現状分析と課題

## 【内部環境】

- ・職員**減少**
- ・拠点の**減少**
- ・事業の見直し
- ・外勤の見直し
- ・渉外員数の**減少**

## 【外部環境】

- ・人口**減少**
- ・少子高齢化
- ・若年層のJA離れ
- ・スマートフォン普及率80%超
- ・非対面式ツールの普及

## 【課題】

➡ **双方向のコミュニケーション(対話)に課題が！？**

# ◆信頼構築における対話の歴史から見た課題

過去

- 共済一斉推進
- 全戸訪問による外勤
- 物理的に店舗が近い
- 地域への参画 など

○ 対話によって信頼関係作り  
○ 業務上で人脈が広がる！

現在

- 共済全職員運動
- 外勤の見直し
- 窓口店舗の減少
- 地域参画の減少 など

○ 対話によって信頼関係作り  
○ S N S での発信  
○ 人脈の広がりが限られる

未来

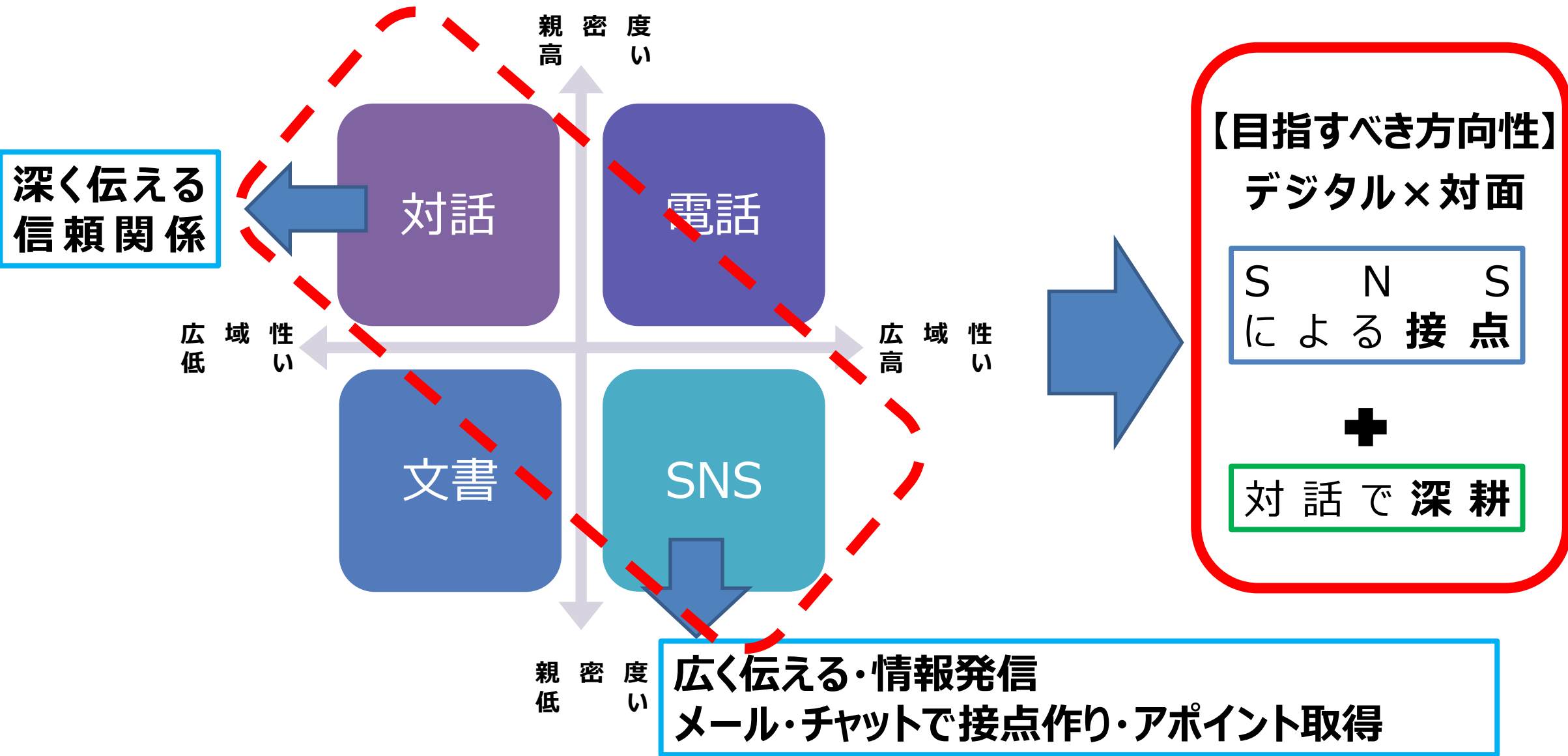


？

○ 対話方法の検討が必要？

# ◆解決の方向性

## 【コミュニケーション分類からの検討】



# ◆ 具体的提案 SNSを活用した双方向コミュニケーション

## 現在のSNS活用の形



情報



JA事業の認知・理解促進

+ 提案するSNS活用の形



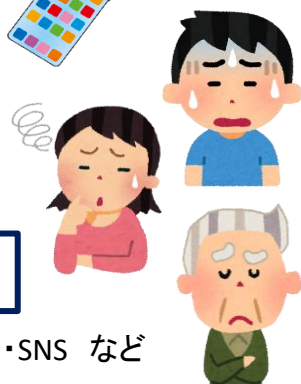
お知らせ・回答

JAコネクト・SNS など



相談

JAコネクト・SNS など



対面

対話



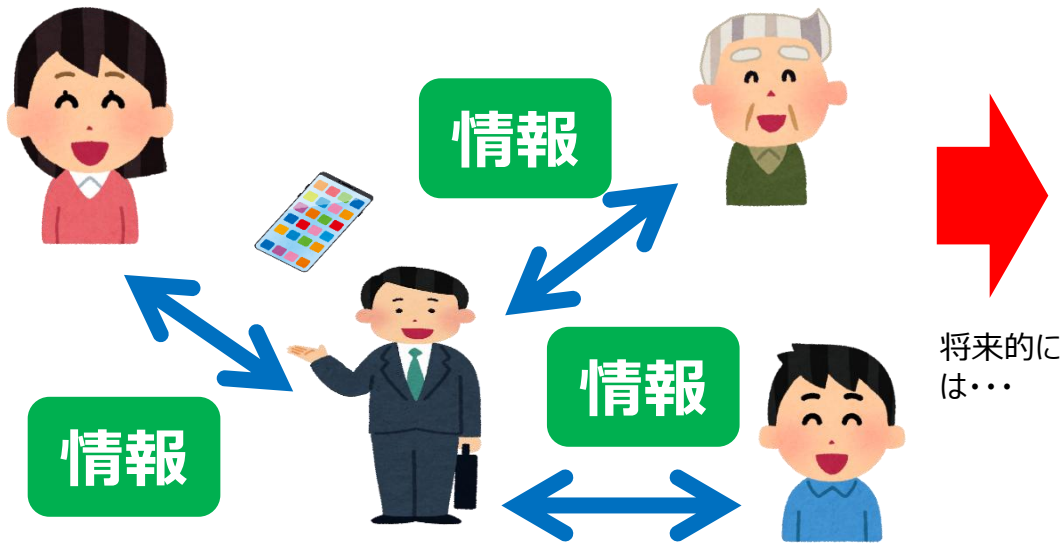
## 【SNS(メール・チャット機能)の役割】

- JAからのお知らせを個別に送信
- 組合員・利用者からの相談への回答
- 合意形成が必要な内容は面談アポイントを取得

## 【対面の役割】

- 合意形成が必要な内容は対面で深く！

# ◆SNSを活用した双方向コミュニケーションの可能性

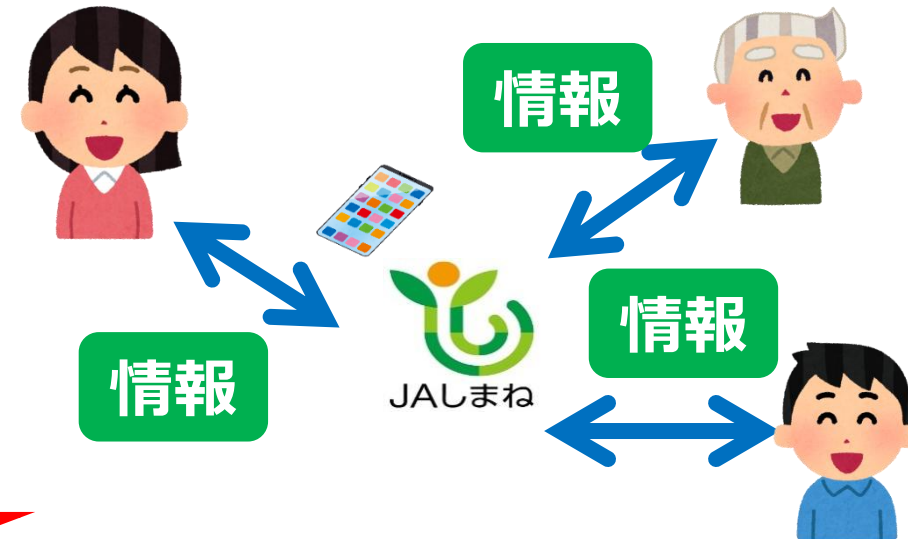


※メール・チャット機能で双方向のコミュニケーション  
重要な内容については対面。

## ＜新部署の設置＞

### デジタルマーケティング推進室(仮称)

- ・SNSを通じてなんでも相談できる一次相談窓口。
- ・情報差配する。
- ・情報収集・情報活用を行う。
- ・戦略提案



属人的な情報活用から  
JALしまね**チーム**としての情報活用へ

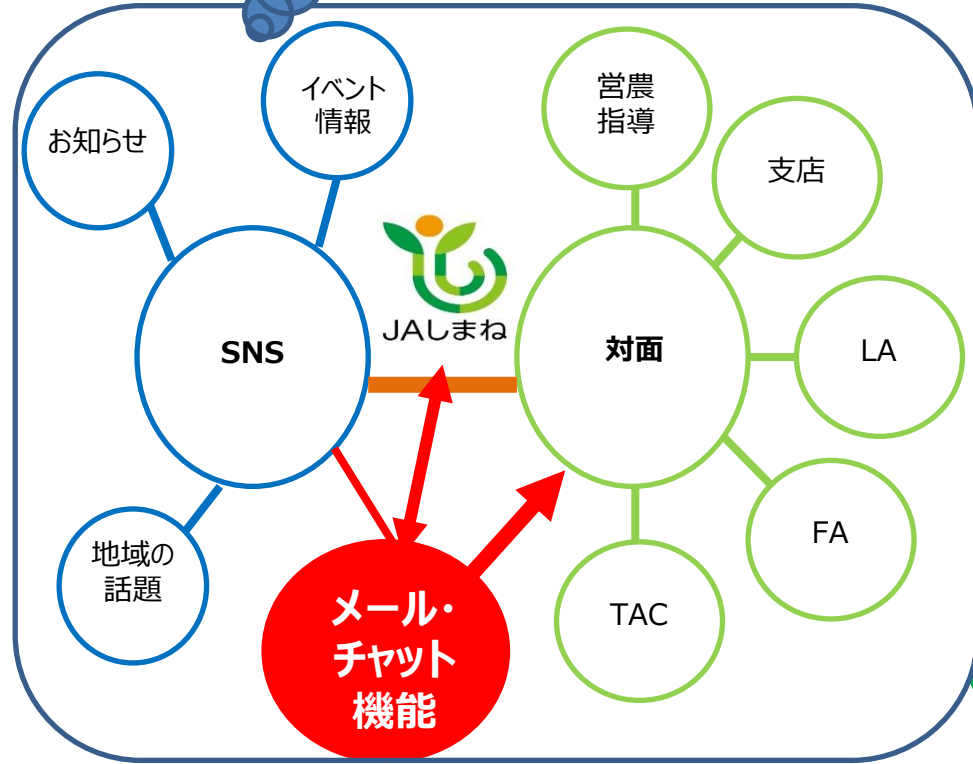
# ◆まとめ

- ・SNSで広く伝える
- ・対面で深く伝える
- ・メール・チャットで  
接点強化

個人の情報活用から  
チームの情報活用へ

JAしまね事業理念

人と自然が共生する  
光り輝く未来の創造



デジタルマーケティング  
推進室

新たな対話方法で  
～“つながり続けるJAへ”～